

【ダムによらない治水を検討する場】

第2回会議

議事次第

1. あいさつ

2. 議事

(1) 昭和40年7月出水時における市房ダムの洪水調節状況及び効果

(熊本県)

(2) 過去の降雨が発生した場合の河道・周辺状況

(国土交通省)

(3) 対策の提案と検討条件の確認

(熊本県・市町村が提案)

(4) 次回以降検討すべき内容の確認

3. 次回日程調整

第1回会議で確認した第2回以降の検討内容

1. 第2回会議で説明する事項

◆昭和40年7月出水時における市房ダムの洪水調節状況及びその効果。

◆現在の河道でどのような降雨が降った場合、河道や周辺の状況がどういう状況(浸水想定面積など)になるか。

2. 第2回の「検討の場」で説明し、検討条件等の確認を得た上で具体的に検討する事項

◆引き堤、掘削、宅地嵩上げあるいは遊水地、既設ダムの機能強化等の対策について、技術的な検討を進める上での前提条件。

3. 次回以降、具体的な検討結果を示し、効果、影響(環境、社会、経済)等をお示しし、再度意見を伺いたい。